

夢咲楽

～和輪話通信～

目次

- 「さくら市の子どもを考える会」実施報告 … 1
- SNSの「こんな経験ありませんか？」 …… 3
- 地域の「あいさつ活動」はなぜ必要? …… 2
- あいさつ巡回活動報告・少年育成サポーター募集 4

「さくら市の子どもを考える会 ～和輪話の会～」を実施しました

11月18日 栃木県子ども会連合会広報部長の秋山黎明先生をお招きして「子ども会活動から考える少年育成サポーターの今後の活動と地域における役割」と題して研修会を実施しました。

体験活動は子どもと地域の大人が関わる機会として、子どもの「社会を生き抜く力」を育成するだけでなく、体験活動の充実が地域を活性化し、まちづくりを推進することにもつながるという話を伺いました。体験活動の目的や意味を再確認できる研修会となりました。

今後も私たち少年育成サポーターが、地域をつなげる「接着剤」となれるように活動を続けていきます。



【人をつなげる主成分】
 楽しいこと うれしいこと 面白いこと
 珍しいこと 美味しいこと 困っていること
 みなさんもこんな話題で話してみてください



とちぎの元気な子ども育て隊!!
 ～とちぎの子ども育成憲章 マスコットキャラクター～



ただいま、おかえりって言いあえるまちに
 みんなで広げよう
 シトラスリボンプロジェクト
 IN とちぎ
 わたしたちは
 シトラスリボンINとちぎ
 に参加しています





地域の「あいさつ活動」はなぜ必要？



「おはようございます！」さくら市では、元気な子どもたちの朝のあいさつが聞こえます。青少年センターでは各小中高校前で子どもたちとあいさつを交わす「あいさつ巡回活動」を定期的に実施しています。この活動では、学校関係者のみならず、地域の皆さんにもご協力いただき、精力的にあいさつ活動に取り組んでいます。

では、どうして「あいさつ」が必要なのでしょう？

あいさつはなぜ必要か Part2



さくら市教育委員会 教育長 橋本 啓二

このテーマで8年前に「和輪話通信」のコラムに投稿をさせていただきました。あれから、さくら市の子どものあいさつ力はどうなったのでしょうか。そして、「おはようからはじめる人づくり」の目標達成は進んでいるのでしょうか。この立場に立ち、あらためて検証させていただきます。

「時を守り、礼を尽くし、場を清める」、「あいさつ日本一の学校」など多くの学校で独自のテーマを抱えて、あいさつ運動に取り組んでいます。また、青少年センターの朝のあいさつ運動も、少年育成サポーター・事務局・学校ばかりでなく、PTA・警察署の皆さんの参加など地域への輪が広がっています。

さらには、下校時見守り隊の皆さんやボランティアの方々も以前より増え、相互のあいさつ交流の姿も数多くみられるようになりました。子どもを地域で育むという気運が以前より増してきたのではないかと思います。コロナ禍で人とのコミュニケーション低下が心配されますが、さまざまな子どもたちを巡る課題（不登校・いじめ・ひきこもり等）解決に向けて、直接的・間接的にこの「あいさつ」がひとつの糸口になっているように感じられるこの頃です。



「地域の子どもは地域で育てる」

この「あいさつ巡回活動」はそんな思いをかたちにしたもののよう感じられます。あいさつをすることで地域と子どもたちとの「輪」ができ、子どもたちは地域の大人たちが自分を見てくれているという安心感を得ることができます。それは、子どもたちが社会性を学んでいく過程で重要なことではないかと思います。

「おはよう」「こんにちは」「おかえり」。その一言の積み重ねが「さくらの子ども」を育てていると思いながら、活動を続けていきます。

地域の皆さんも、ぜひ、子どもたちのために日頃からの「あいさつ」にご協力いただくと嬉しく思います。

(わわわ隊 飯島 満)



毎日のようにしているLINEなどのSNS上の何気ないやりとり…。


ニュアンスが伝わらなくて、相手と気まずい雰囲気になりませんか？

別の用事があって 返事できずにいたら…

 今度の土曜日映画いかない？ 19:02

 無視？ 21:17


既読 21:17 気づかなかった(;´・ω・)

 ふつう見るでしょ？ 21:18


既読 21:18 (m´・ω・`)mゴキョ…

交通手段を 聞いたつもりが？


既読 20:14 明日のお祭り行くの？

 行くよー 20:15

既読 20:15 何で行くの？

 来るなってこと？ 20:17

既読 20:17 ごめんちがう。
自転車で行く？バス？

 そっちの意味 (笑
バスでいくよー 20:18

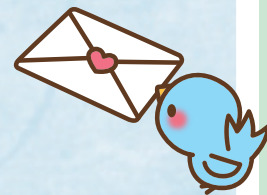
気軽に連絡できるSNSは、とても便利な反面、相手の顔や状況が見えず、相手を不安にさせたり、自分が嫌な思いをしたりすることもあるようです。

総務省の調査によると、20代以下の約26%がSNS上でのトラブルの経験があるそうです。多いのは、「自分の発言が相手に誤解を与えてしまった」「相手を傷つけてしまった」というケースです。^{※1}
なぜ、このようなことになってしまうのでしょうか？

相手の表情や反応を確認できないことはもちろんですが、SNSでの会話の「テンポ」も関係しているのではないのでしょうか。SNSのやりとりについて「来たらずぐ返信する」「返信がすぐ来ないと心配になる」と回答した小・中学生は約7割にもなります。^{※2}

【むかしのおはなし】

85才のTさんによると、「60年前は手紙が相手に届くのに7日も掛かった。誤解があると正すのにまた倍の時間がかかるから、文章には気を使った。でも、時間がかかるからと言って返事を急ぐのはもったいない。相手のことを思いながら、じっくり考えて返事を書かないと、気持ちは伝わらない。」とのことでした。



SNSにはテンポやスピードも大切です。しかし、一番大切なことは、自分の気持ちや考えを正確に伝えることではないのでしょうか。同じ文章や言葉でも受け取り方はそれぞれ違うものです。送信するまでに、相手に思いを巡らせる時間も必要かもしれません。

【引用・参考】 ※1) 総務省平成27年版情報通信白書「SNS上でのトラブル経験」

※2) 国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等に関する実態調査」(2018年) 参照

「あいさつ巡回活動」を実施しました

1月13日(水)にさくら市内小中高校前で「あいさつ巡回活動」を実施しました。寒い朝が続いていますが、子どもたちは元気な様子で登校していました。

今回の活動から「とちぎ国体いちご一会運動 オールとちぎプロジェクト」として、応援バンダナを身に着けてのあいさつ活動を実施しています。

次回の「あいさつ巡回活動」は令和3年3月3日(水)を予定しています。



さくら市青少年センター 少年育成サポーターを募集します

青少年の健全育成に関心のある方、さくら市の子どもたちのために何かできることをしたい方、青少年センターの少年育成サポーターとして一緒に活動をしませんか？

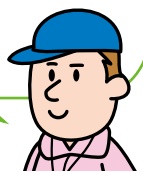
さくら市の子どもたちのために、力を貸してください。募集します！

必要条件がありますので詳細は、下記にお問合せください。

【お問合せ】 生涯学習課 青少年センター担当
☎028-686-6621

元気に活躍！現役☆少年育成サポーター
私はこんな理由でなりました！

- 🌸 シルバー大学で学んだことを活かして、地域の青少年と交流しようと思いました。
- 🌸 子どもと関わりながら、身も心もずっと若くいたいから。
- 🌸 子どもにあいさつの大切さを伝えたくて。あいさつのできる大人に育ってほしいです。
- 🌸 子どもたちと触れ合う機会が欲しかったので。子どもの健全育成にも関心がありました。



あとがき

我が家の愛犬との散歩道、行き会う人たちとの「あいさつ」は心を豊かにしてくれます。会話をする事で人との和が生まれ、繋がりの輪ができます。家庭から地域や学校、そして社会へと繋がりを広げ豊かな人間に育って行くことを願い、私たち「わわわ隊」はこれからも子どもたちを見守っていきます。

会長 飯島 満

「わわわ隊」とは

「(和)やかに(輪)になって(話)そう。」
という、青少年センター少年指導員のみなさんの思いから、「わわわ隊」という愛称がつけられました。

■広報啓発班・ICT研究班

飯島 満 ・ 大河原 千晶 ・ 岡村 浩雅 ・ 福田 克之 ・ 村上 佳彦

さくら市の
子どもを
みんなで育てよう



ゆめさくら わわわつうしん
夢咲楽～和輪話通信～ 第42号
発行日 令和3年2月21日

発行 さくら市青少年センター(事務局 生涯学習課)
〒329-1492 栃木県さくら市喜連川4420-1
電話 028-686-6621 FAX 028-686-5368
電子メール syogaigakusyu@city.tochigi-sakura.lg.jp
市ホームページ http://www.city.tochigi-sakura.lg.jp